

## 総合的な学習の時間部会

### 研究主題

自ら課題を見つけ、主体的に追究し、自分の生き方を考えていこうとする子供の育成を目指して

#### 1 研究主題について

「総合的な学習の時間」は、各学校の独自性や主体性を重視した特色ある学校づくりの核となる教育活動として期待されており、地域や学校、児童の実態に応じて、創意工夫を生かして実践することが求められている。このことを踏まえて、昨年度は、教科との関連を図りながら、子供主体の学習活動を推進するための手立て、評価の在り方について、授業実践を通じた研究を進めてきた。そこで、今年度は昨年度の研究の成果を生かすとともに、子供が主体的な追究ができるような単元構想や適切な支援の在り方を授業実践を通して研究を進めた。

#### 2 研究の内容

- (1) 子供が主体的に追究できる単元構想
- (2) 子供の追究を支える学習過程
- (3) 追究を見つめる評価

#### 3 計画と実践

##### (1) 中学年部会（第4学年）

単元名 心をつなごう ～チューリップ苑のお年よりとふれあおう～

指導者 富山市立東部小学校教諭 高木 三智子

##### 単元構想の概要

老人保健施設のお年寄りとの交流を計画・実践することを通して、相手の立場を考えて行動したり、相手や自分自身に対する見方を深めたりして、主体的に活動する子供を育てたいと願い単元を構想した。その中で一人一人の思いを大切に、互いにかかわり合いながら子供たちが自らの交流の姿を見つめて考えを深めたり、視点を広げて活動したりできるように以下の手立てをとった。

ア：一人一人の思いや願いを大切にしたい継続的な体験活動

イ：視点を明確にした話し合いの場の設定

ウ：心をつなごうを意識する振り返りカードの活用

##### 学習の実際

- ・ 「お年寄りと心をつなごう」という共通のテーマを掲げ、かかわる相手として「お年寄り」を意識させることによって、子供たちはどのようなかかわり方を目指せばよいのか、自分の思いや願いを明確にしながらかかわり合いながら課題を見つけ、追究の見通しをもつことができた。
- ・ 体験活動を継続する中で子供の実態を把握し適切な時期に一人一人の思いや願い、また、不安や戸惑いについて話し合う場を設定した。「心をつなごう」というテーマが明確にあるため、子供同士が視点をもちかかわり合いながら自ら問題を解決していこうと動き出したり、自分の交流を振り返ったりすることができた。
- ・ 自分とお年寄りとの心をつなごうについて「心の線」で表現する振り返りカードを活用した。それは常に相手を意識しながら今の自分の交流の姿を振り返り、新たな課題や活動を生み出すことにつながった。

(2) 中学年部会 (第5学年)

単元名 もっとかがやけ！わたしたちの学校 明日へつなぐ、わたしの30周年記念

指導者 富山市立堀川南小学校教諭 細野 友典

単元構想の概要

創立30周年を迎え、自分たちの学校をもっと輝かせ、新たな堀川南小学校の歴史をつくるために自分ができることを考え実践する子供を育てたいと考え、単元を構想した。

その中で、自分の願いの実現に向かって主体的に活動し、多くの人やものとかかわりながら互いに学び合う。さらには、学校や地域を大切に思い、伝統を受け継いでいく自分たちのあり方を考えていこうとすることを願った。そのために以下の手立てをとった。

ア：課題意識を高め、追究意欲を継続するための「人」や「もの」との出会いの場の工夫

イ：自分の考えを見直したり、深めたりする学習の場の設定

ウ：振り返りの視点が明確なカードの継続的な活用

学習の実際

- ・ 学校のよさを話し合う場を設定したり、学校の歴史を紹介したりしたことで、学校についての関心を高め、新たな視点をもつことができた。また、子供たちの願いに応じて、学校にかかわる地域の方の学校への思いを聞くことで、心が揺さぶられ、追究意欲を高めることができた。
- ・ 意欲的に取り組んでいる子供の悩みを取り上げて話し合うことで、自分の活動を振り返るきっかけとなった。また、アドバイスをしたり協力したりと友達同士のよりよいかかわりが生まれ、意欲的に活動を継続する原動力となった。
- ・ 視点を明確にした振り返りカードを継続的に活用することで子供たちの実態を適切に把握できた。それは、適時に個に応じた適切な助言をしたり全体の話し合いの場を設定したりという支援を可能にした。また、それは学習への取り組みを勢いづかせ子供が活動の意味を実感することにつながった。さらに子供の実態に合わせ、評価の指標を満足度から達成度に項目を変更したことで、子供は自分の達成目標を意識しながら追究を深めることができた。

4 明らかになったこと・残された問題点

(1) 明らかになったこと

- ・ 単元全体を通して常に子供たちが意識できるテーマを設定することによって、子供たちはそれに基づき自分なりの課題をもち、意欲を継続させながら追究に取り組むことができる。
- ・ 共通体験や話し合いなどを適切に設定することで、子供たちは互いにかかわり合いながら考えを深め、主体的に追究を深めることができる。
- ・ 視点を明確にした振り返りカードを継続的に活用することで子供は自らの学びを振り返るようになる。また、教師は実態を適切に把握し、指導の改善に役立てることができる。

(2) 残された問題点

- ・ 単元構想の際には、育てたい力をどこでどのように育成するのかを教科との関連を図りながら吟味し、指導や支援の方法を具体化しておく必要がある。また、年間を見通して構想していく必要がある。
- ・ 子どもたちの充実感や満足感を大切にしながらも評価規準に照らした育てたい力が子供たちにどのようについたかを見極めながら学習を進めていくことが大切である。